

平成29年8月定例会教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成29年8月30日(水) 9時から11時まで
2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 : 教育長 斎藤 克己
教育長職務代理者 垂井 美千代
委員 渡辺 義弘
委員 野上 美智子
委員 神田 岳委

4. 出席職員

教育総務課長	甲斐 尊	学校教育課長	小林 一彦
社会教育課長	斉藤 隆生	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課課長代理	荻野 健
学校教育課総括課長代理	口石 愛	文化・文化財課課長代理	日高 昌幸
教育総務課主査	原 絢子	教育総務課主事	姫野 まりな

5. 傍聴人 なし

1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日の出席者5名、欠席者0名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。

(教育長)

これより臼杵市教育委員会、平成29年8月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は本日より限りいたします。次に、会議録署名委員に 渡辺委員と神田委員の2名を指名致します。

今回、次第3の協議事項のうち、「報告第9号 専決処分の承認を求めることについて」と次第4の「学力向上について」、次第6. その他の「公立幼稚園について」、を非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。賛成の委員は、挙手をお願いします。

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

2. 教育長報告

(教育長)

次第2の教育長報告を行います。

1日ですが、中体連九州・全国大会の出場、中学校吹奏楽九州大会出場報告がありました。中体連は、ソフトテニス、バドミントン、陸上、個人団体含めて21人。東中の吹奏楽部が九州大会という

ことで26人が報告に上がりました。

3日に、初めて高校生市議会を実施しました。15分の持ち時間で、臼杵高校から議長、議会事務局長、議員計7人、海洋科学から議員3人。議題について高校生はしっかりと発言していました。ただ、15分の持ち時間が少ないという反省がありましたので、次年度以降どうしていかと検討して行きたいと思います。

4日は台風5号について災害対策事前会議がありました。

9日は、3つの教育振興会議の第一回目を開催しました。特に11月に毎月開催していますが、実施について、また学校教育、社会教育の取組について説明いたしました。

10日は、1年生の担任の先生と懇談させていただきました。小1プロブレム等色々な問題があり、直に担任の先生から困り、ご意見をいただきました。関連しますが、幼児教育基本方針を定めようとしています。幼稚園、保育園、小学校の連携協議会がありまして、その中で話をさせていただきましたが、就学前の子供たちの姿を考えていただきました。これを、推進協議会を組織して、定めて行こうという考えです。先生方の考え方を整理して、0歳から15歳、将来は18歳まで一貫、筋の通った教育を目指せばなあという考えです。

11日ですが、山内流の遊泳大会がありました。7月21日から開催していますが、最終的には100名の参加で、これも後ほど報告があります。市外から20人弱子ども達が参加して、真っ黒に日焼けをしていました。次の日に卒業式があって、今年は高等科が1名でしたが、卒業しました。

17日ですが、青少年健全育成協議会の会議をいたしました。今年度の取り組みについてあり方も、臼杵は地域振興協議会等もあって色々な取り組みを進めていますけれども、健全育成会自体が、参加を見たら教頭先生が中心となっているようなので、このあり方も今後考える必要があるなど感じました。またこの日、市町村教育長協議会で、今年は教職員の負担軽減について意見交換をしました。新聞等では出ていますが、超過勤務の問題を議論し、なかなか手を出せない状況ですが、あわせて中学校の部活動ですね、外部指導員の導入について、各市の教育長の考え方を話しました。難しい問題だなということで、制度も含めて改正する必要があるんじゃないかという意見で終わった状況です。引き続き検討を続けて行こうというところです。

18日に、ジュニア防災リーダー養成講座開校式が行われました。この日と23日、29日の3日間開催して、ちょうど昨日閉校式がありました。今年は、中学校2年生28人が参加して、防災の知識を蓄えて、昨日は実践訓練だったんですが、しっかりしていました。今年3回目なんですけど、過去2回とも野津中が参加してくれていたのですが、今年は参加できていなかったのが、是非来年は出ていただきたいと感じました。同日、定例の校長会がありまして、大分県の中学校の社会科部会の研修会がありまして、ちょうど午前中に重なって、コミュニティスクールについて話させていただきました。実は今年、法の改正がありまして、コミュニティスクールをすすめていこうという文科省の方針も含め、臼杵市は地域振興協議会だとか、社会教育課の協育ネットワークづくりも進めていて、ほとんどの学校が改正されているので、そのまま移行したいなと考えています。それで、地域振興協議会等実際にやっている学校を中心に次年度以降やっていきたいとお話をさせていただきました。また、この日に学テの結果が報告されました。結果は後ほど紹介させていただきますが、今年は昨年からの現場、指導主事の取り組みで非常に良かったです。小学校、中学校とも中位くらいですが、躍進としては去年は最下位だったので、躍進としては1位だと私は思います。継続して今の取り組みが進められると良いなと思います。

19日ですが、臼杵っこ検定で、96名の子供たちの受験でした。41人が合格し、15名が上級合格、内1名が一般の方でした。今日の午後、上級の認定式をいたします。

24、25日は学校給食課職員面談をしました。

26日ですが、火祭りに合わせて臼杵っこガイドを、今年3回目ですが子ども達がしました。11人のガイドで、今年10期生が7名参加し、後は先輩です。同日、臼杵っこワクワク歴史体験教室の土器づくりが中臼杵の文化財管理センターで10名の参加で行われました。

28日ですが、職員採用試験委員会でした。今年は、程度で出していますが、事務2人、障がい1人、建築1人、消防2人で、応募総数85人ということで、1次試験が9月にあります。先ほども言ったように、月曜日に学テの結果が公表され、次の日の新聞に出た状況です。

昨日が、ジュニア防災リーダー養成講座閉講式でした。

質疑等がありましたらお願いします。以上で、教育長報告を終わります。

3. 議事

(教育長)

これより次第3の協議事項に入ります。報告第9号は非公開とします。

次は、第41号議案です。臼杵市奨学資金に関する条例施行規則の一部改正についてです。

(学校教育課長)

臼杵市奨学資金に関する条例施行規則（平成17年臼杵市教育委員会規則第22号）の一部改正について、臼杵市教育長に対する事務委任規則（平成17年臼杵市教育委員会規則第6号）第1条第2号の規定に基づき、議決を求めるものです。

下に行きます。臼杵市奨学資金に関する条例施行規則（平成17年臼杵市教育委員会規則第22号）の一部を次のように定める。

第2条第2号中「及び成績証明書」を削り、同条に次の1号を加える。

(5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

第5条中「様式第4号」を「様式第3号」に改める。

第6条中「様式第5号」を「様式第4号」に改める。

様式第1号から様式第4号までを次のように改める。

ということです。改正後の現行部分をご覧ください。第2条の(5)に、前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類を付け加えました。それによって、現行は2号、4号、5号となっている部分を、2号、3号、4号というように改正したということです。議案の7P目です。理由は、臼杵市奨学資金に関する条例施行規則による奨学生選考のために必要な書類を精査し整備を行なう必要があるためです。

(教育長)

補足しますが、奨学資金については、様式の書類を出してもらうんですけども、成績証明書などは提出してもらっていないです。様式も、旧が無いので分かりにくいですが、提出しないように整理したということです。今後になると思いますが、他の奨学資金を受けている時に、本当に必要かというのを検討したいと思います。実際は条例なので、議会の議決が必要なので検討して行きたいです。説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。第41号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

第42号議案「臼杵市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について」説明します。

(学校教育課長)

臼杵市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正についてです。臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年臼杵市教育委員会規則第6号)第1条第2号の規定に基づき議決を求めるものです。

下の段に行きます。臼杵市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示

臼杵市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱(平成17年臼杵市教育委員会告示第96号)の一部を次のように改正する。資料の4Pをご覧ください。別表第1中「290,000円」を「308,000円」に、「115,200円」を「139,200円」に、「211,000円」を「223,000円」に改める。別表第2中「217,000円」を「272,000円」に改めるものです。理由、国の定める幼稚園就園奨励費補助金交付要綱第3条第3項に基づく国庫補助限度額が変更されたことに伴い、臼杵市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の補助限度額を改正する必要が生じたためです。お願いします。

(教育長)

国の制度が変わったことに伴う改正です。説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。第42号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

第43号議案「平成29年度補正予算(9月定例市議会)について」説明します。

(教育総務課長)

教育総務課から説明いたします。A3の資料をご覧ください。この資料は、9月補正の市長査定に向けた数値ですので、これが補正予算の議案として、9月定例市議会に上がることとなっております。

教育総務課におきましては、歳入1番の学校費寄附金として、海辺小学校卒業生からの母校の図書購入に関する寄附金として¥500,000を計上します。少し具体的に申しますと、卒業生というのは、現在大阪府にお住いの、イタイカズオさんという方で、海辺小学校を昭和29年3月に卒業されて、現在75歳です。この方が、小学校に入学しているときは家庭が貧しく、本や新聞をよそに行って読んでいた、そういったつらい経験から海辺小学校の児童には十分な本を読んでもらいたいということで、海辺小学校に御寄附いただけるということです。

一方歳出ですが、1、2番です。1番は、非常勤賃金として¥1,511,000を計上しています。昨年度野津幼稚園を退職されました柳井ひとみさんを、改めて非常勤職員として雇用するために賃金を計上しています。2番は、臨時傭人料の組替えです。3番が、歳入と関連しますが、¥500,000の寄付をもとに、図書費として歳出で¥500,000あげています。現在、海辺小学校で図書目録を作成していますが、予定では85冊の本を購入します。以上です。

(学校教育課)

学校教育課です。歳出の、4～8番をご覧ください。4番は、特別支援教育支援員1名の増員及び教育相談支援員の勤務日数です。5番は車検費用不足分、中学生英語検定試験受験料補助費です。英語の教科化に向けて子ども達の検定試験料を補助しようというものです。それから、全国・九州大会出場による中体連補助金の増及び吹奏楽部活動南九州大会出場による補助金です。以上です。

(社会教育課)

8番です。施設補修工事費¥860,4000につきましては、臼杵中央公民館の段差解消です。9番の謝礼金¥240,000につきましては、ストレッチ教室の教室数追加です。非常に応募者数が多く、話がありまして、大分成人病検診センターと協議して、教室がもう一クラス増やせる目途が立ちました。以上です。

(文化・文化財課長)

歳入2番についてです。当初予算において、臼杵っこガイド、学芸員のハッピーと拡声器を買うよう区分していました。この部分につきまして、日本教育公務員弘済会から助成金をいただきましたので、¥500,000を記載しています。

歳出10、11番です。10番につきましては、来年度国民文化祭がありますが本年度プレということで、プレ事業の費用を¥245,000計上しています。これにつきましては、海上自衛隊音楽隊の実施に対するパンフレットの作成、および先進地視察ということで奈良に、実行委員の方々に言っただく経費を計上しています。18番についてです。文化財資料購入費ということで、¥21,025,000を計上しています。7月の定例教育委員会において、ヤマコの資料についての評価額が¥76,000,000程度であることをご報告させていただきましたが、交渉の結果¥21,025,000でお話を付けていますので、計上させていただきます。以上です。

(学校給食課長)

12番、13番をご覧ください。機械設備を導入する費用ですが、当初予算では工事費で要求しておりますが、今年度に入りまして、導入にあたって建築担当課と契約担当課と協議した結果、備品購入費が適切であるとして、13番の備品購入費に組み替えさせていただきます。したがって、工事費から¥19,242マイナス、その分を備品購入費にプラスです。もう一点が、19,242蒸気ボイラ自動運転送気システムの購入予算です。これは、ボイラの担当者が1名なんですが、朝7時に点けて、夜は早くて夕方6時半、7時、8時になることもあります。その職員の負担軽減と、超過勤務手当の縮減を目的にこの機械を導入するため計上しています。以上です。

(文化・文化財課長)

報告漏れがありました。歳出11番についてですが、その他特財であるため、¥6,000,000を計上しています。文化財に対する基金を積み立てておりまして、それを一般財源に組み入れます。歳入の部分におきましては、財務経営課に計上していますので歳入には計上していません。

(学校教育課総括課長代理)

歳出6番の手数料についてですが、今年度から、中学3年生の3級の英検を受験するときの半額を補助するものです。現在の中学3年生から大学の受験制度が変更される通知があります。読む・聞く・書く・話すという4機能を見ていくことになり、英検の等級を大学の可否に利用するという変更に伴うものです。臼杵市としては、早期から中学生が大学受験に対応できる能力と資質を向上するという所、また受験に対するチャレンジ精神を養う目的で、今年度から追加で設けます。

(垂井委員)

他市でやっているところがありますよね。

(学校教育課総括課長代理)

はい、あります。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。第43号議案については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

次第4.「学力向上について」は非公開です。

4. 学力向上について

5. 教育予算等について

(教育長)

委員の皆さま、教育予算に関して何か要望等ございませんか。

6. その他について

(教育長)

次第6.「幼児教育基本方針(案)の進捗状況について」説明します。

(学校教育課総括課長代理)

前回、6月19日から、幼保小連携協議会で、協議が始まったことを説明いたしました。今日までの間に全体会で2回、その幼保小連携協議会から代表者を選んでいただいて、その方々に2回、計4回の協議を進めてまいりました。就学前までに育てほしい子どもの姿、そして身に付けたい力というのを、日ごろ子供たちと接している現場の先生の想いを十分くみ取りながら話を進めてきました。事前にお配りしている資料に、話し合いの経過をお配りしています。国が示す10本の姿というのも示されていますので、それとどうつなぎ合わせていくかという所も先生方から要望として出されています。また、幼稚園、保育園、小学校の先生がこの会を通じて今までなかなか情報交換できなかった部分が、しっかりできるようになるという、会を通じて繋がりが持てたということ喜んでいただいている姿というのを見ることが出来ましたので、方針を作るという目的もありますが、繋がりを作っているという目的に関して達成してきているのではないかと思います。また、会を通じて先生達の子供たちへの想いというのをすごく感じる事が出来まして、事務局としてそこもとても嬉しいです。皆さんの中で、こういう子どもを育てたいという気持ちを一つにしてきている経過もありますので、この経過を、今度は幼稚園教育推進協議会という会を立ち上げまして、各幼稚園、保育園、認定保育園の責任者の方々、大学の教授等にご協力をいただきまして、協議をしていきたいと考えています。

特に、今度の9月4日にある幼児教育推進協議会では、白杵が目指したい就学前の子供の姿、身に付けたい力を協議してある程度の方向性を決めて行きたいと思っています。追加として、配布しているA3、A4の用紙、小学校就学前までに育てほしい白杵の子供の姿というのが、先ほど言いました4回の経過を踏まえ、大分大学の教育学部の幼児教育を専門にしている田中洋准教授にご指導いただきまして、皆が言っている遊びというところがもっと明確に表せる形にした方がいいんじゃないかというご指摘をいただきまして、A4の文書の真ん中くらいですが、白杵市の目指す遊びではこういう子どもが育つんだよ、こういうことを身に付けるんだよ、というところを分かりやすく書いた方が良くご指導いただきまして、少し訂正したものがありますので、それをお配りしています。A3の方は、国が示している10本の姿について、幼保小連携協議会の方でも、これを整理して、一つの目安にしたいということでしたので、整理をしました。国の目指す姿の横に、白杵の子供の目指す姿の説明を加えてほしいという要望もありまして、今まで協議してきたものをそこに整理しているという

経過です。出来上がったものではありません。ここに、子どもの行動や先生の行動、指導のポイントという国が示しているものの中から、具体的な例示がありますので、そういう所も追加していけると良いなという意見交流もありながら進めている段階です。幼稚園、保育園、小学校の先生方が、目安に出来る、就学前に育ててほしい子どもを明確に示せるように協議をしながら、まとめて行きたいと思いますので、何か気づいた点があれば教えていただければと思います。以上です。

(教育長)

幼保小連携協議会の中で具体的に先生達の意見を出してもらって、まとめたものが今口石代理が説明したものです。9月4日の幼児教育推進協議会では各園の代表、幼稚園、保育園、小学校、現場サイドで色々考えてもらって、0歳から将来的には18歳ですが、15歳の小中一体教育の中で目指す、中学校卒業の時にはこんな姿で、じゃあ幼児のところからどうして育っていくか一緒に考えてもらえればなと思います。目安として方向性を示せるように、指針を作ればいいかなと思います。推進協議会が母体となって、それを目指す姿に毎年向かっているのかなと確認していただく協議会にしていきたいと思います。私の考え方を説明した上で、色んな先生方の意見をいただこうかと思っています。その上で、教育委員の皆さんに経過を報告しながら意見をいただきたいと思っています。説明が終わりました。意見等がありましたらお願いします。

(垂井委員)

指針や方針というと、言葉が多くなってきちんと作って行くんですけども、幼児教育ですから、キーワードがパッと見てすぐわかって、例えば遊びなら遊びと書いて、いつ、どこで、誰と、その中で一番大事なのは危険なことが無いように、と書いていればなんとか幼稚園でも、なんとか保育園でも、指針を見てキーワードを見て、その園独自のものを入れられて、工夫が出来るように作っておかないと、これだけカチッと文字が並ぶと研修の時にこれが配られて、今ここをやっているんですよ、と言った時に食いついていくかどうか考えた時に、幼児教育は対象児が小さいですよ。大人が考えた指針、方針じゃ、幼児を対象とした指針・方針、その園独自のものをキーワードの中に園独自のものを、というやり方に出来るで見やすいし、取り扱いやすいし、その辺のところを考えるのはいかがかなと思いました。

(野上委員)

遊ぶという言葉が、専門の人達は幼児の遊ぶということがどれだけ大切なのか分かるんですけど、今度、こういう子どもを育てたいねということを受ける親たちが遊びのイメージをどうとらえるかを考えた時に、大学の先生がもうちょっとここを分かりやすくしてあげた方がいいよね、と言ったのがそうだろうなと思いました。遊びの種類が、教育者の人達と受け取る人たちがギャップがあると、上手く伝わらないのかなという懸念も大学の先生がアドバイスしてくださるといいなと思いました。

(教育長)

幼児教育は難しいだろうと私自身も思っています。なかなか0歳から5歳の幼児教育に教育委員会として入れない部分があって、小中学校が何をしているか分からない部分が皆さん分かっていないのではないかとこのところがありまして、それをまず知ってもらいたいなと思いました。ガチッと決めるわけではなくて、その方向に向かっていくというのでいいんじゃないかと、そのために皆で確認しながら出来ればいいかなと思っているので、そういったご意見をいただければと思います。

(垂井委員)

幼稚園教育では、遊びがキーワードで、遊びの中で学んで、遊びの中でルールがあって、遊びの中で育てていく。世間一般での遊びという言葉はなんだ?となりますが、定義しておくのは必要だと思います。

(神田委員)

なかなか難しいですよ。保育と、学校教育に繋げる就学前というくくりが難しく、小1プロブレム対策も含めて、こういう子ども像をしてほしいですよと言われると、保育園、幼稚園で保育に欠けてない子に対して、こうしてくれないと小学校に上がりませんよ的な条件になるのが問題だと思います。そこは、教育委員会として調整するのは大切です。学校の先生方も、指針を出しているのにあそこの幼稚園はできてないじゃないか、すわりも出来ん、数字も読めん、自分の名前も書けん、というスタンスになられるのが困る。指針を出す時に、臼杵市として噛み砕いて出すのであれば分かりやすい。福祉の部分と、学校教育の部分と、学校教育の部分が、ちょうどあやふやなところで、線引きが難しいけれど、なにかしらリンクするキーワードがあればいいくらいで起こすと一番いいのかなと思います。このままいくと、学校側から行くところとこうしてくれないか、幼稚園、保育園からするところとっておかないといけないのではないかなとなるのが一番連携のれの字が無くなってしまおうような気がするので、最初にその埋め合わせをしておかないと。

(垂井委員)

幼児教育と言わずに、私が言うのは、斎藤教育長が願うのは就学前の姿と。私はそれがいいと思います。

(神田委員)

小学校の先生、1、2年生を見る先生が保育園、幼稚園の様子を中学校と小学校が交流授業をしているように見に行くと、保育園、幼稚園の先生達が小学校を見に行くと、ここまでしておけば先生達の苦勞がないんだとか、ここまでしてくれるんだったら幼稚園、保育園はここまででいいんだという相互理解から始めないと難しいので。

(教育長)

ありがとうございます。経過をまた報告していきたいと思います。

次第6. その他の「公立幼稚園について」は非公開です。

以上で、次第6を終わり、これを持ちまして、8月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
